

総務産業常任委員会

視察内容「市道高ボッチ線東山ルート の地滑り現場視察」 7月20日実施



高ボッチ高原は観光の目玉であり、一日も早い復旧が待たれるところです。市道の安心・安全な交通確保を最優先とした工事が実施され、高ボッチ高原の一層の賑わいを期待するものです。

当委員会は7月20日、昨年8月の大雨で被災した市道高ボッチ線東山ルートへの地滑りの現場視察を行い、被災状況を確認しました。

災害現場は、延長約100mの範囲で地滑りし、最大約2mの段差が生じています。建設課担当職員から、今秋にも追加のボーリング調査を実施し、被害の全体像を把握し、解析結果をまとめて県、国との災害査定の前協議に向けた準備を進めている。災害復旧事業が採択され、復旧工事が順調に進めば、開通は最短で令和6年春を見込んでいる、との説明を受けました。

市議会議員補欠選挙結果



いしい つとむ
石井 勉氏



かみじょう もとやす
上條 元康氏



やまざき ゆみ こ
山崎油美子氏

欠員に伴う市議会議員補欠選挙は令和4年9月18日に告示され、3人の欠員に対し4人が立候補し、9月25日に投票が行われた結果、山崎油美子氏、上條元康氏、石井勉氏が当選しました。なお、補欠選挙のため任期は前任者の在任期間となるため、令和5年4月29日までとなります。

10月臨時会 市長就任



市長就任の挨拶を述べる百瀬市長

10月11日に開催された臨時会で、市長就任の挨拶を述べた百瀬敬市長は、今後4年間で取り組む政策や市政運営の基本姿勢を掲げました。

百瀬市長は、現代における人間関係の希薄化や、家族や地域の繋がりの弱体化を懸念している一方で、人間が本来持っている「やさしさや思いやり」を原点に置き、一人ひとりの能力が周りの人々のために遺憾なく発揮される地域を目指していく考えを示しました。「ともに支えあえる心豊かな地域」を市民の皆様とともに創り上げたいと語り、市長として10年先、20年先を思い描いた力強い内容でした。

ともに支えあえる
心豊かな地域づくり

今後の4年間で取り組む主な政策

1. 感染症や物価高騰から社会経済の復旧復興、アフターコロナ対策
2. 少子化を乗り越える出産・子育て支援
3. 学校教育や家庭支援、次世代への教育投資、貧困の連鎖の歯止め
4. 人生100年を支える医療・介護・保健・福祉の充実
5. 新たな価値を生み出すことによる、力強い地域経済、雇用や就労の確保
6. 観光、交流、地域ブランドによる地域内好循環の創出
7. 防災、インフラ、都市計画、柔軟で回復力に優れたまちづくり

市政運営の基本姿勢

1. 徹底した対話と現場主義
2. 弱い立場の方々への配慮を優先
3. 新しい価値観に対応
4. 多様性の重視
5. 連携・協力・協働
6. 市役所は市民のよろず相談所